

4年生 手話、点字教室

10月1日（水）、館林市社会福祉協議会の方々の協力をいただき、4年生の総合的な学習の時間での「福祉」に係る学習として、「手話、点字教室」が行われました。この授業は館林市が取り組んでいる手話に関する施策に基づいて行われたものです。講師の先生の説明を受けた後、児童は手話や点字を使って、実際に自分の名前を伝えたり、コミュニケーションを図ろうとしたりしていました。

4年生はこれまでも、車椅子体験や高齢者体験の学習を通して、障害等のある方に対して理解を深めています。

